

令和2年度 施政方針

2月27日に開会した市議会定例会で、鈴木市長が令和2年度の施政方針を表明しました。
予算編成の基本的な考え方や、重点的に取り組む施策など、主な内容をお伝えします。



私は、かねてより「白河は、歴史・文化・産業など、多様な地域資源と経済的環境に恵まれ、地域振興を図るうえで大きな可能性がある」と感じていました。そのため、足元にある資源を見つめ直し・磨き・いかしていくという、内発的な発展を軸に各種施策を講じてきました。

とりわけ、地域の活性化には、若者の定住が大事であることから、産業サポート白河を創設し、地元企業の体質強化に取り組むとともに、首都圏からの近接性や交通の利便性をいかし、ヤフーや三菱ガス化学をはじめとした高い技術力を持つ企業を積極的に誘致し、雇用の場を確保してきました。

史的な建造物や景観を整備保存し、風情ある街並みにあらためて光をあてるとともに、コニエス・リヴランなど、文化創造の核となる市民の広場や、表郷公民館・ひじりん館・きつねうち温泉など地域に密着した交流の拠点を整備してきました。

一方で政府は、人口減少に対応するため、5年前に「まち・ひと・しごと創生法」を制定し、その対策を講じてきましたが、本市では法の目的を先取りし、従来から取り組んできたところでは、

しかしながら、今なお若者、特に女性の東京圏への流出や少子化が続いている状況を踏まえ、今後は、若者の持つ感性、スキル等をいかせる働き方の創出や、AIなどを活用し

たものづくりの高度化など、魅力ある雇用づくりを進めていく考えです。

また、若い世代が社会で活躍できるように、待機児童の解消やワークライフバランスの推進など、社会全体で子育てをする環境を整え、さらには、市内外を問わず、主体的にまちづくりに関わる「人」を育み、交流人口の拡大を図っていく考えです。

今後さらなる振興を図るうえでは、生活圏や経済圏を共にした地域で連携することが重要です。このことから、県南はもとより、会津の一部や栃木県北部とともに、互いに補完し合いながら、観光や医療、文化など、共通する課題に取り組んでいきたいと考えています。

4年後に新一万円札の顔となる「渋沢栄一」は、500を超え事業を興すとともに、経済と道徳性の融合を強調した「日本資本主義の父」と称されています。

渋沢は、多くの名言を残していますが、なかでも「国家にとつての地方は、真に元気の根源」であるとして、地域の特色をいかした振興策の大切さを強く唱えています。また、文武を奨励し、飢饉など非常時への備えや民の救済に力を注いだ松平定信公を深く敬慕し、名君を祭る南湖神社の創建に大きく貢献しました。

私たちは今、世界的な経済優先の考え方や、相次ぐ自然災害の猛威、急速な人口減少など、先の見えない霧の海をさまよひ、もがきながら進んでいる状況にあります。

近代日本の黎明期にも似た今の時代にこそ、渋沢が唱えた地域重視の精神を思い起こし、あらためて足元の資源をいかした的確な手を打つことにより、どんな大きな波も乗り越えていけると考えています。そして、市をあげて目の前の課題に着実に力を注ぎ、未来を切り拓いていきます。

1. 安全・安心プロジェクト

市民の暮らしを守るため、防災・減災、交通安全対策への対応を推進します

- ◆ **国土強靱化地域計画策定事業**
防災・減災の対策をソフトとハードの両面で着実に進めるため、国土強靱化地域計画を定めます
- ◆ **園児の散歩道安全対策事業**
幼稚園・保育園児が日常的に利用する散歩道の水路に、転落防止柵を設けるなどの安全対策を実施します
- ◆ **地域情報システム（防災無線）構築事業**
緊急時の気象情報・災害情報および地域情報などを、的確かつ迅速に伝達するため、280MHz防災行政情報配信システムを整備します
- ◆ **消防車両等整備事業**
消防活動に必要な軽積載車および小型動力ポンプを更新します
- ◆ **緊急自然災害防止対策事業（農業用施設）**
集中豪雨などによるため池の災害を未然に防ぐため、護岸改修工事を実施します



2. 健康・福祉・医療プロジェクト

子育て支援や社会全体での支え合いを推進します

- ◆ **妊産婦医療費助成事業**
妊婦が安心して出産を迎えられるよう、医療費の助成により経済的負担を軽減します
- ◆ **ひきこもり自立支援事業**
本市の実態を把握し、具体的な支援策を検討するため、検討委員会を設置するとともに、包括的な相談支援体制を構築します
- ◆ **野菜で健康応援プロジェクト事業**
生活習慣病の予防のため、野菜の摂取や減塩を意識した食事を推進し、健康づくり意識の向上を図ります
- ◆ **白河QOL（生活の質）向上プロジェクト事業**
市民の生活の質を長く、良く保ち続けるため、実態調査や医療・介護健診データを分析し、結果に基づいた健康支援事業を展開します
- ◆ **地域包括支援センター整備事業（大信サブセンター整備事業）**
きめ細やかな高齢者支援を推進するため、大信地域に地域包括支援センターの支所を開設します



5. 都市基盤プロジェクト

快適で利便性の高い都市環境の整備を推進します

- ◆ **しらかわセーフロード事業**
道路側溝や縞鋼板ふたを改修し、地域の通行障害や騒音発生の解消に努め、良好な居住空間を整備します
- ◆ **大規模盛土造成地変動予測調査事業**
大地震時に災害発生の恐れがある大規模盛土造成地について、現地踏査を行い宅地カルテを作成し、被害の防止・軽減につなげていきます
- ◆ **予約型乗合タクシー実証実験事業**
表郷・大信・東地域において、予約型の乗合タクシーの運行を試験的に実施します
- ◆ **歴史と伝統を活かしたまちづくり事業**
歴史まちづくりを継続して実施するため、第1期の歴史まちづくり計画の効果検証と課題抽出を行い、第2期計画を策定します
- ◆ **緊急自然災害防止対策事業（河川）**
集中豪雨などによる河川の災害を未然に防ぐため、堆積土砂の浚渫、河川護岸・河床の改修工事を行います



6. コミュニティ・環境プロジェクト

地域おこしや定住人口の増加、環境保全に向けた取り組みを推進します

- ◆ **まちラボ学生プロジェクト支援事業**
大学のゼミやサークル、まちづくりに関心のあるグループが本市を拠点に研究活動する際の費用を支援し、新たな交流を生み出します
- ◆ **地域の底力再生事業**
住民同士の結びつきを深める交流促進事業を補助することで、地域活動を活性化させ、コミュニティの強化を図ります
- ◆ **農業用施設整備“結”支援事業**
市民協働の一環として町内会が自ら行う、水路等へのU字溝の敷設など農業用施設の保全活動に対し、材料を支給し町内会活動を支援します
- ◆ **森林環境交付金事業**
小・中学生を対象に森林環境学習を実施し、森林を守り育てる意識を育みます
- ◆ **来て「しらかわ」住宅取得支援事業**
移住・定住の促進により地域の活性化を図るため、県外・市外から市内へ移住する世帯に対して、住宅取得に要する費用の一部を補助します



3. 産業・雇用プロジェクト

雇用・就労環境の充実や観光資源をいかした交流人口の拡大を推進します

- ◆ **女性活躍推進に向けた多様な働き方実現事業**
子育て世代の女性などを対象に、働く場所や時間に縛られない「クラウドソーシング」の活用を推進します
- ◆ **南湖公園魅力再発見事業**
南湖公園を会場にイベントを実施することで、多くの方に南湖の魅力を知ってもらい、更なる誘客を図ります
- ◆ **農地耕作条件改善事業**
農業進出を計画する企業に対して、基盤整備・施設建設などの支援を行い、雇用就農の受け皿や栽培技術の提携、販路の共有などを図ります
- ◆ **リノベーションまちづくり推進事業**
中心市街地の空き店舗を女性や若者のアイデアを取り入れて再生し、民間活力によるまちなかのにぎわい創出に取り組みます
- ◆ **(仮称) 物産交流センター整備事業**
JR白河駅に隣接する建物を改修し、地場産品の展示販売や地域住民と来訪者の交流の場となる施設を整備します



4. 教育・文化・生涯学習プロジェクト

豊かな教育環境の整備や文化・スポーツに触れるための支援を推進します

- ◆ **風月の芸術祭（福島ビエンナーレ2020）開催事業**
現代アート作品を市内の史跡や歴史的建造物などに展示するとともに、アーティストや大学生と交流できる芸術祭を開催します
- ◆ **小峰城清水門復元整備事業**
本丸を守る重要な役割を担っていた清水門を、当時の図面をもとに忠実に再現し、小峰城の魅力をさらに高めていきます
- ◆ **ICT教育指導力向上推進事業**
小野田小学校をモデル校として、ICTを活用した効果的な授業や、分かりやすい教材などについて研究を進めます
- ◆ **白河第二中学校建設事業**
実施設計の完了に伴い、令和2年度は、新校舎北棟および屋内運動場の建設工事を実施します
- ◆ **市民オーケストラ設立準備事業**
市民オーケストラ設立に向けて、指揮者や指導者の人選や運営体制の整備に取り組むとともに、団員を募集します

